

第9回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 兼

第4回佐久市地域公共交通会議 会議録

日時：平成24年3月9日（金）

14：00～15：20

場所：佐久消防署 3階講堂

1 開会

2 あいさつ

3 地域公共交通会議会議事項

(1) 報告事項

①廃止代替バス久保通線の一部経路の変更について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	久保通線の延伸で、望月支所から結いの家までの4つのバス停は新規バス停なのか。
事務局	延伸区間は、現在、東信観光バスにより春日線、布施線ですでに運行されている経路であり、4つのバス停は既存のバス停である。

②市内巡回バス浅科線の停留所の新設について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	新規バス停付近に横断歩道はあるのか。高齢者などが道路を横断する際に危険と思われる。
事務局	現状は横断歩道はないが、道路幅員が広いため、安全確保に向け検討していきたいと考えている。

③その他

- ・JR小海線のダイヤ改正についてJRより説明
 - 3月17日にダイヤ改正を行い、小海線も新幹線に合わせたダイヤ変更が若干ある。
 - 利用者が減少しており、できる限り利用していただきたい。
- ・質疑、意見等 特になし

(2) 協議事項

①望月小諸線及び山手線の廃止申し入れの対応について

- ・事務局より資料説明
- ・千曲バスより今後の対応について説明
 - 両路線について4月1日より土日祝日は運休とする。
 - 望月小諸線の中原経由系統の廃止は、運輸支局への手続期間を考慮し、5月頃から実施する。

・質疑、意見等

委員	望月から直接佐久病院へ行きたいという声がある。地区懇談会でも、今回の見直しで、望月から佐久病院へは2回乗り換えを行わなければならない、また、運賃もその都度となると600円かかってしまうといった意見もあったが、どのようになるのか。
事務局	その件に関しては、この後の佐久市生活交通ネットワーク計画の説明の中でご説明させていただきたい。
会長	望月小諸線及び山手線の廃止申し入れの対応については、ご異議なしということではよいか。
委員一同	異議なし。

4 地域公共交通確保維持改善協議会会議事項

(1) 協議事項

①佐久市生活交通ネットワーク計画（案）について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	デマンドタクシーについて、運行事業者の選定についてはどのように考えているか。
事務局	デマンド運行は通常のタクシーと異なり乗合免許が必要となる。この乗合免許をお持ちで市内で営業しており、かつ市の入札参加資格を持つ事業者での入札を考えている。
委員	ジャンボタクシーを持っている交通事業者は、市内でどの程度いるか把握しているか。
事務局	ジャンボタクシーを持つ会社もあることは確認している。今後、需要を想定しながらタクシー事業者と検討する必要があるが、必ずしもジャンボタクシーが必要という状況ではないと考えている。
委員	ノーマイカーデーなどの取り組みは、年数回ではなく、毎月や毎週単位で市の職員がある程度強制的に行い、職員から意見を出してもらおうということも必要ではないか。
事務局	県のノーマイカーデーなどと同調し市では実施しているが、今後さらに実施拡大など前向きに検討していきたいと考えている。
委員	JRでは毎週水曜日をノーマイカーデーとして、割引回数券を販売している。できれば、毎週実施するなど検討していただきたい。
委員	今回の計画で朝夕の便を確保していることは評価できると思う。できれば夜の1便を増やすとさらに利便が高まるし、公共交通は市の職員だけでなく、地域の皆さんが利用することが重要である。 今回の計画では、曜日運行でスタートするが、曜日運行で便数を増やすのか、毎日運行で便数を確保するのか、どちらが良いのか正直なところ分からないが、曜日運行を開始した後も利用者の意見などを把握し、計画の見直しを行っていただきたいと思う。

	<p>バスのネーミングやラッピングは周知に有効であるので、考えていっていただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見として承り、今後もそのような方向で検討させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>地区懇談会の意見を見ると、デマンドタクシーに対する意見も多くある。10月からの運行開始以降も、住民の意見を取り入れて検討して欲しい。</p>
事務局	<p>今回の計画に基づく運行開始以降も、意見聴取を行うなどして継続的に改善を行っていききたいと思う。その際は、当協議会において、利用状況などを評価していただく中で、計画の見直しを行っていききたいと考えている。</p>
委員	<p>佐久市が中心で進めている定住自立圏構想が実現化する場合に、今回の計画をリンクさせていくのか、もしくは、根本的に変わることはありうるのか。</p>
事務局	<p>定住自立圏においても公共交通の見直し・再構築の検討を行っていくこととしている。本計画の中でも、周辺市町にまたがる路線について定住自立圏の関係市町と検討を行っていくこととしており、将来を見据えて、今後関係する市町と協議を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>これまでに過去8回議論した内容に基づき本計画が作成されており、この案でよいと思う。今後、高齢者などもより配慮していただき、見直しを行っていくということによいのではないかと思う。</p>
委員	<p>バリアフリー車両の導入検討を新たに計画に追加するとしているが、バリアフリー法では、路線定期に供する車両は原則、バリアフリー化を進めるものとされている。現行の「高齢者から意見が寄せられているため検討する」という記述だとこれと齟齬が生じるため、バリアフリー車両の導入検討についての記述は再検討して欲しい。</p>
事務局	<p>記述内容は修正させていただきたいと思う。</p>
会長	<p>この件については修正させていただき、その点も踏まえ、計画案全体を通して、現案でよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>

②地域公共交通調査事業の事業評価について

- ・事務局より資料説明
 - 国から評価実施の詳細について今後示される予定となっており、今回のものから若干変更する可能性があるが、協議会として概ね今回の内容でご了解いただきたい。
- ・質疑、意見等 特になし

会長	<p>事業評価については、ご異議なしということでよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>

5 その他

今後のスケジュール等について事務局より説明

- ・ 白田地域のデマンドタクシー経路等調査のための今年度予算の組み替えについて
- ・ 今年度の国庫補助対象事業の完了報告を事務局で進めることについて
- ・ 新年度の協議会事業の支援委託業者を、継続性を踏まえ今年度と同一業者として、新年度予算承認前に委託契約をすることについて
- ・ 次回協議会は5月～6月頃を予定していることについて
- ・ 年度の切り替わりに伴う委員の任期途中の交代に係る対応について
- ・ 質疑、意見等

委員	先ほどのバリアフリー車両についてであるが、積雪や勾配などの状況も踏まえた適用除外もあるのか。
委員	ご意見のとおり、狭あい道路や積雪、勾配による例外もある。こうしたことも踏まえ、導入を検討するといった内容に記述を修正されたらよいと思う。

6 閉会